

佳作

「大すきなおねえちゃん」

栃木県 上三川町立本郷小学校 一年 よかわみく

わたしには、9つちがいののねんせいになるおねえちゃんがあります。

がっこうにあがってからは、おねえちゃんのはんちょうでそのうしろをあるいてまいにちがっこうまでかよっています。はじめは、がっこうって「どんなところだろう」とふあんだったのでおねえちゃんがいつもいっしょだったのでもあんしんでたのしくがっこうにいくことができました。いえにかえっても、いろいろがっこうのわからないことをおしえてくれたので、はやくがっこうになれることができました。

わたしは、いつもいえでおねえちゃんとあそんでいます。ゲームをやったりトランプをしたりたまにおみせやささんごっこもします。いろんなことをおしえてもらいながらあそびます。とってもたのしいです。

でも、あそんでいると、いつもすぐケンカになってしまいます。おねえちゃんが、わざといじわるするときもあります。わたしは、「やめてよ」「とおこっておかあさんのところになんていきます。おかあさんは、

「わたしのことがかわいいからやるのよ」

と、わらっていいいます。おねえちゃんもわらっています。でも、わたしは、おこっているので、わらえません。すこしたつと、ケンカをしていたことをわすれて、またなかよくあそびます。そしてまたケンカ。の、くりかえしです。かぞくのみんなは、いつも、わたしたちを

「よねばさわればケンカしてるね」

「なんでケンカをするのにあそぶの」「とよくいいいます。わたしもたまに」

「もうあそばない」「というときもあります。でも、やっぱりひとりであそんでもつまらないし、おねえちゃんとあそびたいし、いっしょにわらうのがたのしいです。

わたしは、いもうとなので、なにかにまけたり、できなかつたりすると、いつも、おこったり、ないたり、さわいだりしておねえちゃんをこまらせます。でも、さいごは、いつもおねえちゃんが、おりることになります。たまにおねえちゃんだけおばあちゃんちにあまりにいくことがあります。そのときは、とてもつまらないです。はやくかえってこないか、ずっとかんがえています。いっしょにいるとケンカばかりだけど、いないときみしいです。いつもいっしょにあそんでくれて、いろんなことをおしえてくれるやさしいおねえちゃんがわたしは、だいすきです。おとなになっても、いっしょにあそぼつね。